─ 機機【カトマンズ泊 日】

朝昼夕【ガンドルン泊 []

朝昼夕【タダパ二泊 [1]

朝昼夕【ゴラパ二泊 □】

朝昼夕【ウレリ泊 🔲】

朝昼─【ポカラ泊 田】

朝一一【機中泊】

機一一

朝一夕【カトマンズ泊 日】

スケジュール/食事【宿泊地】 午前、福岡発・アジア経由都市で乗り継ぎ、夜、ネ

朝、呉ラメチャップ空港へ。午前、ナ国内線でポカラへ。

天候が良ければ右側機窓からはランタン山群やマナス

ル山群の大パノラマを望めます。呉専用車でナヤプル

(1,070m)へ。さらに悪路をガンドルン周辺(1,780m)

へ(約3時間)。シェルパ達とトレッキング開始。 ※石畳の

道を登り、ゆっくりとグルン族の村ガンドルン (1,950m)

★アンナプルナ・サウスやマチャプチャレを間近に眺め

ながら、ゆるい登りをタダパニ(2,650m)へ(徒歩約4.5

★樹林帯を抜け、滝のある沢沿いの山道をデウラリ峠

(2,990m)へ。ゴラパ二手前では、新たにダウラギリ方

面の展望も開けてきます。シャクナゲの屋根街道をゴラ

∳早朝、好展望のプーン・ヒル (3.194m) を往復。好

天に恵まれれば、朝焼けのダウラギリI峰(8,167m)、

アンナプルナ山群等の素晴らしいパノラマが堪能でき

★その後、ゴラパニからジョムソン街道の石段の道を

ウレリ (2,073m) まで下ります (徒歩約5時間)。

午前、ナラメチャップへ。興専用車でカトマンズへ。

夜の出発まで自由行動。**街の散策やオプショナルツアー**

のヒマラヤ遊覧飛行や市内観光などをお楽しみくださ

パ二峠 (2,895m) へ(徒歩約6時間)。

朝、興専用車でポカラへ(約3時間)。

ポカラ着後、午後ポカラにて自由行動。

い。夜、カトマンズ発・アジア経中都市へ。

朝、アジア経由都市着・乗り継いで福岡へ。

パールのカトマンズ着。

ヘ(徒歩約30分)。

ます(徒歩約2時間)。

午後、福岡着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

時間)。

着

アンナプルナ山群8,000m峰 展望トレッキング 9日間

【福岡発着・浦周平さんと歩く】ラリーグラス開店50周年を記 念し、代表の浦周平さんと、ラリーグラス (シャクナゲ) 咲く季 節に歩きます。コンパクトな日程ながら、ヒマラヤを代表する山々 を一望できる世界中のトレッカーに人気の定番コースです。

コースのハイライトでもある展望の丘プーンヒル (3,194m) からは、アンナプルナとダウラギリ、 8,000m峰を擁する2つの山群を同時に見渡すことが できます。



発着地

ポ カ ラ 着/発

ガンドルン周辺着/発

トレッキング1日目

トレッキング2日目

トレッキング3日目

トレッキング4日目

好展望の丘

プーン・ヒル往復

カトマンズ

カトマンズ

ガンドルン

3 ガンドルン

タダパニ

タダパニ

ゴラパニ

ゴラパニ

ウレリ

ポカラ

カトマンズ

カトマンズ

カトマンズ・フリータイム

6

8

福

着

浦周平

私がご宮内します

発着地 福岡

あい1回 33300		旧心同反	ك ك ك ك
出発日~帰国日		旅行代金	





宿泊施設

- ●燃油サーチャージ (2025年10月20日現在:目安約32,000円) が別途 必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いた します。
- ●ビザ=ネパール/申請料金9,400円(実費5,000円+申請料金4,400円、2025年8 月10日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ●ツアーリーダー(添乗員):福岡から福岡またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- ●最少催行人数:10人 ●食事:朝7回、昼5回、夕5回
- ●利用予定ホテル: Cクラス以上。カトマンズ/ロームスタン ポカラ/アーバス、バラヒ
- ●一人部屋利用追加料金:¥60,000(日程3日目のタダパニのロッジ泊を除く)
- ●利用予定航空会社:大韓航空、キャセイパシフィック航空、タイ航空

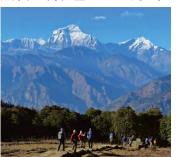
※トレッキング:現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行。 ※行動範囲: 1,500m~3,194m、最高宿泊高度2,895m、高山病の影響は小さい。

大人気の定番コースがさらに魅力的に

近年の道路の延伸を反映し新たに改良したこのコースでは、トレッキング 1日目のガンドルンからハイライトのゴラパニまで、毎日ヒマラヤの好展望 が続き、春はシャクナゲの名所として知られています。高山病の心配も少な く、初めてネパールを訪れる方にもおすすめです。

ダウラギリ川群

サンスクリット語で「白い山」を意味す るこの山群は、アンナプルナ山群の 西側に位置する山群です。主峰のダ ウラギリ I 峰は世界第7位の高峰で、 迫力ある雄姿を望むことができます。



▲ダウラギリT峰 (\pm /8.167m)トゥクチェピーク(\pm /6.920m)

プーンヒル

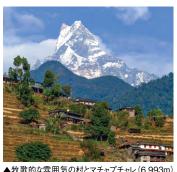
アンナプルナとダウラギリ、8,000m峰を 擁する2つの山群を見渡せるプーンヒル は、ネパールでも一、二を争う人気の展望 地です。日の出前に登り、ご来光とともに 刻々と変わる巨峰群の姿は必見です。



▲プーンヒルからの大パノラマ

マチャプチャレ

ネパール語で「魚の尾っぽ」を意味 するこの山は、地元住民によって神 聖な山として崇敬されており、ネ パール政府により登山が禁止され ていて、未踏峰となっています。



▲牧歌的な雰囲気の村とマチャプチャレ(6.993m)

アンナプルナ山群

サンスクリット語で「豊穣の女神」を 意味するこの山群は、ネパール・ヒ マラヤの中央部に位置し、アンナプ ルナI峰やアンナプルナ南峰など の名峰を望むことができます。



▲ゴラパニから望む夕陽に染まるアンナプルナ山群